くにみ

【才69号】
昭和38年6月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

大枝集会所完成!!

小林さんに感謝状

大枝地区は、学校、元役場農協、診療所などの公共施設が全部梁川町地内にあり、方部的まとまりをもつ施設が何一つないため、地区民は非常なに不便を感じていた。それで全地区民が会合できるような場所がほしいと数年前からみんなで望んできた。そのみんなのねがいが実を結び、三十七年度の町予算に追加計上され、梁川町野間組の請負で写真のようなスマートな集会所が建設され、去る五月十四日午前十時から落成祝賀式、午後には記念映画会などをして喜び合つた。

大枝地区集会所全景

この建物は、その大きさや間取りが町の青年研修所とほとんど同じで、大広間のほか日本間、炊事室、管理人室をもち、総面積百五十八平方メートル、地区公民館としてごろである。こういう公共物をつくるとき、とかく問題になり、建設の推進を妨げるものは敷地の問題であるが、大枝の場合は小林敏雄さんが進んでこれを提供されたので、きわめてスムーズに事が運んだ。この場所は県道に沿い、大字西大枝の中央で、川内からも至便の地であるので、集会所敷地として最適と見てとつた小林さんは、四百九十五平方メートルの水田の寄付を申出たのである。町では落成式に際し感謝状を贈つてその厚意にむくえた。

【写真】は全景と感謝状を受ける小林さん

赤い水よさようなら!!

浄水工事七月完成

国見町上水道拡張工事も三十六、三十七両年度で配水管の布設延長一八、九一三メートル、才二調整池（大木戸小前一五〇立方メートル入）才三調整池（山根地区一八立方メートル入）も完成し、国見町全戸数の約七〇パーセントに当る給水区域に送水し、現在一、一八〇戸に対し毎日八〇〇～九〇〇立方メートルの給水をしている。

ところで昭和三十四年給水開始当時には全然見られなかつた鉄分が三十五年頃から検出され、その後次才にその量を増し、赤い水を何とかしてくれとの町民の声もはげしくなつたので、本年度いよいよその鉄分とマンガン分を除く装置をすることになり、五月二十日起工式、七月末完成をめざして工事をすすめている。これが完成すれば、立派な浄水場が生まれ、赤い水とも在は、井戸で滅菌された水をポンプで調整池に送水され、各家庭に給水されているのである。こんどの除鉄及び除マンガン装置のあるまして次に述べる。まず井戸からポンプで気曝室に送られた水は空気にさらされている鉄分が不溶解性の才二鉄となる。次に急速攪拌装置に入れ、消石灰を加えて攪拌すると未酸化の鉄分を才二鉄とすると同時にマンガンも水酸化物とする。更に才二の攪拌機で硫酸バンドを注入して水酸化アルミニュームのフロックを作り、鉄及びマンガンの沈澱物を凝集させ、上ずみをろ過し、浄水池に入れここで塩素滅菌してこれをポンプで送水するわけである。この工事費一三九三万円で、一日のろ過能力一、三〇〇立方メートルというから現在の一・五倍の戸数に給水できるわけである。

よい子たちへの贈り物

水泳プール三つ

わが国見町では、すでに藤田、森江野、県北の三校にそれぞれ水泳プールがあり、その普及率からいつて管内一といわれてきた。しかし他の三校にないということは教育の機会均等の精神からいつてこのましくないとの観点から、一日も早く建設してやりたい、とは各地区父兄はもちろん全町民の願いであつた。そこれで去る三月の国見町定例議会並びに大枝小学校組合議会では揃つてこれを建設することを諮り、その予算を計上し、又各地元町民はPTAを中心に全員をもつて協賛会をつくり、寄付金をまとめて当局に差出し、着工の促進をはかつた。町では五月二十八日入札の結果、小坂は松島屋、大木戸は岩城組、大枝は安田組ときまり、一斉に着工した。各業者とも早期完成をめざし、良心的に工事を施行することを申合せているので、夏の水泳シーズンまでにはタテ二五メートル、ヨコ八メートルの立派なプールが三つそろつて完成することであろう。工費は一つ七四万円他に附帯工事を合せて大体一〇〇万近くかかるわけである。町内全校にプールがあるということは県下にも珍しいといわれ、これまでくる夏ごとに親や先生をなやまして来た子ども の水泳についての心配は解消されるわけである。

ご利用ください

ラジオ農業学校録音

毎朝六時四〇分（日曜日は六時三〇分）からNHK才二で放送しているラジオ農業学校をおききでしようか。農業近代化の道案内となる技術や知識を学んでいただくための放送です。仕事や時間のつごうでお聞きになれなかつた方のために、毎朝録音してあります。あとで利用された方たちからたいへん喜ばれています。ぜひご利用ください。公民館にご連絡くだされば いつでも、どこへでもお貸しします。テキストの巻頭にある放送番組一覧表をごらんになり希望の月日と放送単元（題目）をお知らせになればテープと機械をお貸しします。使い方もお知らせします。個人でもグループでも結構です。

はりめぐらされたデンボク

ギューちゃん モーこりごり

夏の間充分に運動させ、日光と栄養を豊富にあたえることは家畜管理の秘訣である。小坂峠に町営放牧場を設けたことは、本紙才六一号でお知らせした通りであるが、こんど諸準備ができたので、去る一日、関係者多数参列して開場式並に入場式を行ない、才一回の希望平を放牧した。北山組合から借り入れた約五〇ヘクタール（五〇町歩）の山地に八ボルトの電流を通じた鉄条がはりめぐらされている。

議会傍聴記

昭和三十八年度才三回国見町議会の定例会が六月六日午後二時から開かれた。前回欠席して憂慮された安藤議員もにこやかな顔を見せた。例によつて定時励行、案件が少ないせいか、一件一件いささかもおろそかにせず、夕闇迫る頃まで審議を続けた熱心さに傍聴生の方がいささかグロッキーであつた。

(1)、母子寮事業費八万円支弁のため、三十七年度一般会計追加補正予算の専決を承認された。これで共同ミシン一台、洗濯機一台、野球道具一揃、ラジオ一台を備えた。

(2)、本年四月一日から電気ガス税率の一%引下げとたばこ消費税率一・四%引上げのための税条例を改正しこれによつて二十四、五万円の増収が見込まれる。

(3)、入山財産区の立木約二二〇本十万円を売却し、林道改修費に充てることがきまつた。

(4)、入山財産区は森林開発公団との分収造林百ヘクタールの契約を結ぶことにきまつた。分収率は財産区六割、公団四割。

(5)、大木戸小プール建設金十三万円、小坂小同じく三万円、忠霊塔建設十万円の寄付を受納することに決定。尚小坂からは前に三十万の寄付があつたので合せて三十三万となつたわけ。又大木戸は地区民の寄付で建てた旧中学校舎を提供したかたちになる。

(6)、農協育成と合併促進のため元大木戸中学校舎建物を国見農協ブロックに対し無償譲渡することに決つた。これを至急解体してその跡にプールをつくるわけである。

(7)、大木戸、小坂両校のプール建設費支弁を主体とした総額五十六万円の追加補正予算が決つた。

(8)、石母田東部落に対する水道布設をするため水道施設事業の変更を決めた。

(9)、除鉄装置工事施行による排水樋門をつくる経費十六万五千円支弁のため追加補正予算が組まれた。

七月七日に婦人の集い

吉岡先生のお話をきく

合婦人会は、こんど会員多数の希望によつて連絡協議会に生まれかわり、最も民主的に運営することになつた。その才一回の事業として、来る七月七日（日）藤田小学校体育館で、婦人の集い、を催うし映画を鑑賞したり、吉岡棟一先生の講演をきくことになつた。当日は、町内の婦人会、農協婦人部、未亡人会、婦人学級、若妻グループなど、あらゆる婦人の参加を求めることになるので、空前の盛会が予想される。

町営牧場利用組合役員

組合長　赤井畑直衛
副組合長　佐藤善右ェ門
同　谷口亀之助
監事　八島福太郎
同　鈴木幸吉
顧問　赤井畑直衛（町長）東海林一郎（町議会議長）高梨ミネ
八島建次郎（農業委員会長）酒井保（有畜営農推進協議会長）高木幸作（同副会長）高橋友義（小坂農協畜産委員）小林光男（森江野同）斎藤太助（藤田方部酪農組合長）
徳江喜一（森江野和牛組合長）早田伝之助（伊達郡畜産農協連会長）武井勇（伊達郡家畜保健所長）宍戸武雄（国見町農業共済組合長）
参与　熊坂善七
特別委員　酒井保、八島昌、高橋友義

電気によわい牛たちは絶対に柵外に出ようとせず、緑滴る若葉を思う存分食べながら、ゆうゆうと山野をばつしようしている。現在八頭しか入つていないが、まもなく予定の三〇頭になるはずとのこと。尚管理小屋で暮らします。おあずかりした限りは責任をもつておせわをし、立派な牛にしてお返ししたいと思つております。

【写真】はキャンプ入りする牛たち

PTAの役員

昭和三十八年五月一日現在の各PTAの役員は次のとおりである。

◎小坂小学校PTA
会長　菅野正明
副会長　目黒久太郎
同　佐藤善右ェ門
同　古内イチ
会計　佐藤源蔵
同　三木ジュン
庶務　石幡久剛
会員　一七七名
予算　一一六、〇〇〇円

◎藤田小学校PTA
会長　本田吉助
副会長　曳地一
同　佐藤忠兵衛
会計　樋口清三
監事　佐藤徳治
同　村上昭男
会員　四三〇名
予算　一三〇、〇三五円

◎森江野小学校PTA
会長　古山伝作
副会長　村上太一
同　高梨ミネ
会計　佐久間孝雄
会員　二二四名
予算　一六六、〇五一円

◎大木戸小学校PTA
会長　八島栄一
副会長　松浦芳蔵
同　山口トキヨ
庶務　佐藤信
会計　渋谷愛子
同　多勢勝美
会員　二一二名
予算　一三八、一三六名

◎大枝小学校PTA
会長　丸山新蔵
副会長　佐藤広
同　後藤勝治
同　小林鶴吉
監査　佐藤忠吉
同　鈴木幸一
会員　一九七名
予算　一二四、四五四円

◎県北中学校PTA
会長　八巻正雄
副会長　鈴木誠之助
同　石川暢男
同　小林美秋
会計　渡辺富雄
同　佐藤吉男
書記　松浦寅三
監査　高梨ミネ
同　鈴木伴治
同　佐藤源蔵
会員　九五九名
予算　七〇一、九〇四円

◎道や川はわが家の延長……みんなの協力で町を美しくしましょう

◎青少年は大切な国家の宝……おとなの責任でよい環境を与えましょう

教材ものがたり
—ラジオの巻—

私たちはこれまで、グループでの学習は、話しあいによるのがたいへん効果があるということを勉強してきました。しかし、実際にはなかなか話しあいがうまくすすまないので、それよりも講師をたのんでお話をきいた方がてっとりばやいということになってしまいます。先生のお話しも結構、料理やいけ花のけいこもたいせつですが、それだけでは、効果がうすいのです。

文明がすすんで、世の中のしくみはとてもいりくんできました。人間が宇宙を飛びまわり、国の政治や経済も、国際的なうごきのなかでとらえなくてはなりません。このようにいりくんできた世の中で、私たちがよりよい社会をめざし、よりよい暮らしをねがうためには、ひとりびとりが、世間のことをよく知り、正しい判断をもたなければなりません。その判断の材料をラジオやテレビはさし出しているのです。

もちろん放送は、ひとりでみたりきいたりして、ひとりで自分の判断のよりどころとしてもよいのです。けれども、幾人かの人が集まって（グループで）めいめいのものの見かた考え方を出しあうことが、なおいっそうじぶんの意見をふかめ、たしかめて、よい勉強になることは、いままで、あらゆる機会にのべられてきたとおりです。みんなで考えあうこと（世論）、行動すること（実践）—グループで視聴することの意味はここにあります。

それではラジオ、テレビを学習に利用するにはどうしたらよいかを考えてみましょう。まず、じつさいにその利用はどんなふうに行われているかをあげてみましょう。

①視聴グループの型

一、放送番組を集団で視聴し学習することを目的としたグループ。「NHK婦人学級」「青年学級の友へ」など。

二、目的を持った組織、たとえば婦人団体、PTA、婦人学級、青年学級などが、学習計画のなかに放送を取り入れているばあい。

三、「ラジオの集い」「テレビの集い」など同志がいつしょにきいてあとで話しあいをするもの。

四、会社や組合などで、技能講座などを利用しているものなどがあります。

集まりかたもさまざまで人数の面では七～八人から三〇～五〇人、集まる場所としては会員宅を利用するもの、学校公民館集会所などをつかうものなどさまざまです。

（この項つづく）

人づくりに一役
ことしも保育所三つ

例年農繁期に開設し、地域の親たちから喜ばれていた季節保育所が、ことしも六月一ばいの期間で開かれている。最初農繁期における幼児の事故防止ぐらいをねらってはじめたものが、当事者の努力と工夫によってその教育的効果の大きさがみとめられ、入所希望者が押すな押すなの盛況である。わずか一ヶ月の集団生活ではあるが、その間に幼児たちの身につける社会性や自主性はまことに大なるものがあり、親たちが安心して増産に専念できる心理的効果と合わせ、地域民が歓迎するのも当然といえるであろう。

◎徳江南部季節保育所
場所　徳江南部公民館
責任者　佐野　市郎
幼児数　三七名
保母　蓬田　ゆり
佐野　裕子
佐藤　ノブ

◎塚野目季節保育所
場所　塚野目公民館
責任者　佐久間直次
幼児数　三〇名
保母　佐久間尚子
大内シトシ
佐久間フサ

◎大木戸季節保育所
場所　大木戸小学校舎
責任者　八島福太郎
幼児数　六〇名
保母　松浦　ハル
鈴木サダ子
笠松　信子
松浦　琴

【写真】上から徳南、塚野目大木戸の各保育所幼児たち

グループの十二の条件

わたくしたちは、〇〇会とか、××学級とか、△△クラブとか、名前こそちがうけれども、なにかの集団をつくり、目的を立てて活動しています。これを普通にグループと呼んでいますが、これらのグループが活発に活動するためには最低次の条件が必要だといわれています。

1、毎度の集りで、みんなの顔がみんなに見えるような座形がとれる。

2、一人の発言をみんなできき、その意見をみんなで考える習慣がつくられている。

3、毎回の集りで、一人も自分の意見を出さずに帰るような人がいない。

4、とくべつに大きな声を出さずとも、ふつうの声でみんなにきこえる。

5、一人が意見を出すと、みんなわけなくそれに共鳴したり、盲従したりすることなく、ちがつた意見、ちがつた立場を考えつくことのできる人が必ずいて、相互のちがいをみんなで比較考察することができる。

6、毎回の集りで、きょうは誰と誰が欠席したということが、一目でみんなの者にわかるような、気持の交流がおこなわれていること。

7、欠席する人や遅刻する人は、みんなに迷惑をかけまいと、必ず事前にどんな方法によつてか、その理由をグループに届ける習慣がついていること。

8、グループの話しあいは、井戸端会議とちがうので、同時発言や局部発言が全くみとめられない。

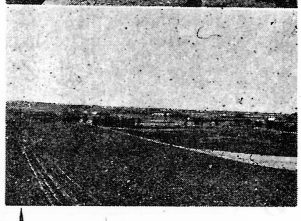
9、グループは、自分たちの共同の歩みの足あととしてその記録を持つていて、時時ふりかえつてはたしかめあつて、つぎの新しい足どりに出発する。

10、集りでは一度や二度のあせらず、じつくり材料を持ちより、読みあつて考えをふかめ、たしかめていく。

11、グループの集りでは、必ず次の集りまでにしらべてきたり、考えてきたりする問題が整理され、のこされる。

12、グループ員は何事もひとごとと思わない、必ずみんなの仕事も分け持ち、その責任を果たす。

盛んな青年のクラブ活動
—八島君の第五信—



もう早植もすみ、果樹、養蚕、麦の取入れと毎日多忙な日が続いていることと思います。この地デンマークにもようやく春が訪れ、五月下旬、気温も二十度前後の日が続き、若葉を吹く風もさわやかに、ひばりを始めたくさんの小鳥がさえずり、水仙に代つてチューリップが咲き乱れ、全くすばらしい季節となりました。おかげさまで私もすこぶる元気で仕事に励み、生活を楽しみながら研究に努めています。

花といえばタンポポが実に多く、道の両側に群がり咲いています。これを小高い丘から眺めると、緑一色の牧場や畑に黄色いベルトをしめたように延々と続いてます。夕方、大きな太陽がまつかに輝きながら、地平線の彼方に沈むさまは、何ともたとえようがありません。仕事も、五月上旬の播種期にちょうどかつただけでまつたくひまになりました。特に乳牛が完全に放牧された今日、体をもてあますくらいです。それで、見学や視察が多くなり日曜日には自転車で、近くの町村や港などを見て廻つています。

土地も気候も決して日本より良いとはいえないこの地で、なぜこのように高い生活を営んでいるのかまだわかりません。とにかく農村も町もほとんど変りない生活をしています。毎日六時で仕事を終り土曜日は半休、日曜は全休です。生活や習慣にも馴れ、ことばを除いてはほとんど不自由なことはありません。友人もできたので、青年の生活などを聞いてみました。若い人たちは、各種のクラブを作り、一週一回か、月二回位集まつているようです。すべて自主運営で、資金は三分の二位は国からの補助があるそうです。スポーツクラブ、ダンスクラブを始め社交を中心としたものが多く、一人で二～五のクラブに入つているそうです。

私たちは、前期の実習も今月で終り、七月一ぱいは休暇旅行と講習です。デンマークの家畜共進会を中心に、コペンハーゲンで外国人の農業実習生約百五十名と五日間の見学を中心とした合宿があり、終了土曜日は半休、日曜は全休です。生活や習慣にも馴れ、ことばを除いてはほとんど不自由なことはありません。友人もできたので、青年の生活などを聞いてみました。若い人たちは、各種のクラブを作り、一週一回か、月二回位集まつているようです。すべて自主運営で、資金は三分の二位は国からの補助があるそうです。スポーツクラブ、ダンスクラブを始め社交を中心としたものが多く、一人で二～五のクラブに入つているそうです。

【写真】は来る途中見学したピラミッドと広大な農場の光景です。

デンマークにて
八島　博正

子どものための母親文庫

みんなで本を読みましょう

公民館ではこんど若いお母さん方に読んでもらうため、特に母親向きの本をたくさん？購入しました。若妻学級などのグループでぜひ利用してください。

わが子の進学二〇問、子どものからだの基礎知識、おとなの成長、子どもの生理と心理、導きかた、反抗期の導きかた、母親入門法、親と息子たち、子供のくせとしつけ、家庭にかわるものはない。子どもの知恵の伸ばし方、子どもの劣等感、子どもの考え始める時、しこい母となるために、母十三人の手記、知られざる子ども、母よ悲しむなかれ、中学生のモラル、なぜ私はくれたか、こう叱るこうほめる、わが子に強くなりたい母へ、ほんものの学力、しあわせな子どものゆくえ、おもちやと子どもの知恵をのばすお話と遊び子どもが耳をすますとき、親と子はもつと楽しく暮せる、優秀児の育て方、豊かな才能づくり、子どもの才能発見、子育て法、子どもの生理と心理、勉強が好きになる本、新版現代子ども気質、現代つ子採点法、親と娘と息子たち、子どもを伸ばす環境、子どもの性教育、お母さまを困らせる子どもの質問、お母さまこそ最良の家庭教師、ママの家庭教師、話し方の研究、こどもの見方と導き方、話し合いの育児、テレビと子ども、マンガと子ども、勉強好きにするに

地域婦人会の役員

は、中学高校生78の悩み、出来る子供出来ない子供、現代つ子飼育法、幼児の見方育て方、母と子の二一分間読書、おかあさんこんにちは、子供からの解放、レンガの子ども、働く人たち、おかあさん、おとうさん、一年ぼうず、キューポラのある街。

※この外にもたくんありますから係りにお申出でください。

◎小坂婦人会
会長　横山　キサ
副会長　黒田　ヒロ
同　高橋　八重
庶務　菅野キエ子
会計　佐藤チヨ
会員　三九　六〇〇円
予算

◎藤田婦人会
会長　城田　キヨ
副会長　野村ちよの
同　八島キサノ
同　松浦　セツ
書記　古川　アイ
会計　斎藤　久子
監査　阿部サダ子
同　高橋　トミ
同　国分いちの
会員　二五〇名
予算　五二、七七八円

◎森江野婦人会
会長　村上　トク
副会長　徳江　ナツ
庶務　小野　悦子
会計　佐久間八代
副会計　大津トシ子
監査　佐久間フサ
同　宍戸　キヨ
会員　二〇〇名
予算　六三、〇八九円

◎大木戸婦人会
会長　松浦　ハル
副会長　山口トキヨ
会計　八島　アキ
書記　渡部　サカ
会員　一四〇名
予算　八〇、七四一円

◎大枝婦人会
会長　佐藤ハルヨ
副会長　小林マサミ
書記　大浪　ヨテ
会計　佐藤　キン
監査　佐藤あやを
同　井砂　シナ
会員　七二名
決算高　四〇、八八五円

みんなの広場
—編集後記にかえて—

◎放牧場

仲間と共に大いに食い、日に当り、歩きまわることによって、子牛たちはすばらしい体格をつくる。

◎水泳プール

一つのプールを、みんなで使うということによつて、ただ単にからだをきたえるということ以上に仲間づくりとしての意義がある。

◎季節保育所

たとえ一年の十二分の一という短い期間でも、幼児にとつてはたのしい思い出であり、人格形成の場である。

◎集会所

それは、いわばみんなの放牧場であり、プールであり保育所である。みんな集つて、たのしみながら人格をみがいていくための道場である。みんなの善意と工夫によつて作られたみんなの広場である。これを利用することによつて、更に新しい善意と工夫が生れることを期待する。